

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業（甘味資源作物等支援事業のうち国内産いもでん粉高品質化推進事業）に関する事業評価票（再々評価）

都道府県名 地区名	事業実施 主体名	対象作物等	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 （工種、施設区分、構造、規格、 能力等）	地方農政局長等の意見
					基準年 （計画策定時） 平成26年	目標年 令和 3 年	目標値	達成率			
鹿児島県	全国澱粉協 同組合連合 会	いもでん粉	27年度 （2 次）	導入工場におけるでん粉 の歩留りを平成26年度 （実績）から1.0%増加 させる。	29.21%	28.58%	30.21%	-63%	でん粉工場における品質管 理機器の整備	・品質管理機器の整備 粉体圧送充填装置（1工場）	8 月中旬の長雨により、 サツマイモ基腐病の被害が 拡大したことから、収穫量 が平年対比76%と大幅に減少 したことに伴い、歩留りは 目標値に達することができ なかった。今後、事業実施 主体に対し、改善計画の提 出を求めることとする。

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業（甘味資源作物等支援事業のうち国内産いもでん粉高品質化推進事業）に関する事業評価票（再々評価）

都道府県名 地区名	事業実施 主体名	対象作物等	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 （工種、施設区分、構造、規格、 能力等）	地方農政局長等の意見
					基準年 （計画策定時） 平成27年	目標年 令和 3 年	目標値	達成率			
鹿児島県	鹿児島きも つき農業協 同組合	いもでん粉	28年度	平成27年度と令和 3 年度 のでん粉原料用甘しょ出 荷量を契約面積で割戻し た平均反収を比較し反収 向上について検証する。 （5%向上）	2. 14t/10a	1. 51t/10a	2. 25t/10a	-573%	実証ほ場の設置による生分 解性マルチの有効性の確認 と普及促進	・実証ほ場の設置 ・検討会の開催 ・チラシ作成	生分解性マルチの導入に より、作業負担が軽減さ れ、作付面積の維持・拡大 に寄与したものの、8 月の 長雨等により、サツマイモ 基腐病の被害が拡大したこ とから、収量が減少し目標 値に達することができな かった。今後、事業実施主 体に対し、改善計画の提出 を求めることとする。
鹿児島県	種子屋久農 業協同組合	いもでん粉	28年度	取組地域におけるでん粉 原料用甘しょの平均単収 を5%向上させる。	2. 23t/10a	2. 29t/10a	2. 34t/10a	55%	実証ほ場の設置による生分 解性マルチの有効性の確認 と普及促進	・実証ほ場の設置 ・検討会の開催 ・チラシ作成	生分解性マルチの使用に より、作業省力化や処理費 用削減等の効果が確認され たものの、サツマイモ基腐 病の蔓延により収量が減少 した圃場があったことか ら、目標値に達することが できなかった。今後、事業 実施主体に対し、改善計画 の提出を求めることとす る。

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業（甘味資源作物等支援事業のうち国内産いもでん粉高品質化推進事業）に関する事業評価票（再々評価）

都道府県名 地区名	事業実施 主体名	対象作物等	事業実施 初年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 （工種、施設区分、構造、規格、 能力等）	地方農政局長等の意見
					基準年 （計画策定時） 平成25～27年	目標年 令和 3 年	目標値	達成率			
鹿児島県	全国澱粉協 同組合連合 会	いもでん粉	29年度	導入工場におけるかん しょでん粉の製造歩留り を過去 3 か年の平均実績 （30.28％）より 0.1％増 加させることを目標とす る。	30.28%	27.93%	30.38%	-2350%	でん粉工場における品質管 理機器の整備	・品質管理機器の整備 卓上型PHメーター（1工場） 赤外線水分計（1工場） 定量冷却機（1工場）	8 月中旬の長雨により、 サツマイモ基腐病の被害が 拡大したことから、収穫量 が平年対比76％と大幅に減少 したことに伴い、歩留りは 目標値に達することができ なかった。今後、事業実施 主体に対し、改善計画の提 出を求めることとする。